

学校名：神栖市立神栖第一中学校

学校の特色ある活動（A 4判 1枚）

※特に重点的に取り組んでいるものについて、活動内容が詳細にわかるように記載してください。

（特色のある活動テーマ） 例：薬物乱用防止教育、防災教育 等

地域と学校が連携した防災教育の在り方

1 これまでの課題と活動のねらい

(1) 課題の把握と設定状況

学校では学校保健安全計画に基づいて各種保健安全教育が行われている。しかし、校外における自然災害時の危険回避に関して学ぶ機会がほとんどない。そんな中、本校は今年度より学校運営協議会（コミュニティスクール）の運用を開始した。この機会に地域の方と一緒に防災教育に取り組み、生徒達に自然災害時の危険回避能力を育成したいと思い、本テーマを設定した。

(2) 活動のねらい

- 自然災害の発生を自分事として捉える。
- 生徒達の危険回避能力を育成する。

2 計画と実践の状況

(1) 計画

- 避難訓練（4月、9月、1月）
- 引き渡し訓練（5月）
- 生徒会と学校運営協議委員との防災ミーティング（6月、11月）
- 全校での防災集会（9月）
- 防災シンポジウム（12月） 講師：筑波大学 梅本准教授

(2) 実践の状況

別添資料のとおり

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- 日頃防災を意識している生徒の割合は37.2%だった。しかし、「防災集会を通して、地震津波に対する意識は高まりましたか。」という問いに対して81.3%の生徒が「高まった」と回答し、生徒達の防災意識を高めることができた。
- 東日本大震災の神栖市の被災状況を具体的に知らない生徒の割合は21.9%だった。しかし、防災集会の後「地域の方の体験談を通し、東日本大震災を振り返る良い機会となりましたか。」という問いに対し、97.9%の生徒が「なった」「ややなった」と回答しており、自分たちの住んでいる地域でも自然災害が起こる可能性がある事を学習できた。
- 「防災について、学校だけではなく家庭でも話すことは、今まで以上に大事だと思いますか。」という問いに対し、「思う」「やや思う」と回答した生徒の割合は97.9%だった。生徒が学習内容を家庭に伝え、家庭の防災意識も向上することが期待できる。

(2) 今後の課題

- 一過性の取組とならないよう、次年度以降も計画的に地域と連携した防災教育を取り組む必要がある。
- 今まで以上に保護者・家庭とも連携して、防災教育に取り組む。

避難訓練実施計画

神栖市立神栖第一中学校 保健安全部

1. 目的 < 職員の役割確認と生徒の避難経路確認を柱として >

- (1) 学校火災から身を守ることができるように、集団訓練を通して、避難する際に必要な行動・規律を身に付ける。
- (2) 各場所から避難経路を選択し、速やかに避難できるようにする。

2. 実施日時 令和6年4月11日(木) < 6校時 > (学校行事1)

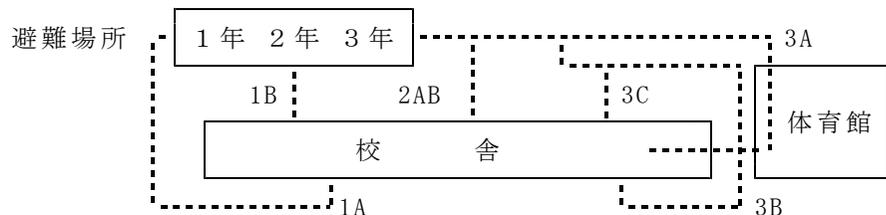
| | |
|-------------|--------------------------------------|
| 14:40 | 事前指導 (朝の会 指導事項の確認) |
| 14:45 | 火災発生 |
| 14:47 | 校内緊急放送 (通報連絡班: 村木先生) |
| 14:50 | 避難場所に整列、人員点呼・確認 避難時間報告 |
| 14:52~15:00 | 校長先生の話 |
| 15:12~15:30 | 各学級で反省入力・担任からの話 ※ロイロノート (iPad) 使用 |
| 15:35~15:45 | 帰りの会 |
| 15:45~16:00 | 清掃 |
| 16:00~ | 下校 |

※教員は各配置場所で、生徒がけがのないよう安全に避難できているかを見守り、最後に残っている生徒がいなか確認をする。

3. 想定

- 14:45 家庭科室より火災が発生。
火災報知器が発報し、職員が確認。
職員室から緊急放送し、避難開始。

4. 避難場所: 避難場所A (野球グラウンド、全校集会の隊形)



避難場所 A: 野球グラウンド B: 体育館駐車場 C: 軽小グラウンド

5. 避難誘導について

- (1) 教師は、放送を聞いて避難場所を確認し、安全に避難しているか確認する。
- (2) 生徒は、上履きのままで避難する。避難する際、真剣に行動するよう指導する。**(おかしもの実践)**
- (3) 煙の中を避難させる場合、ハンカチなどで、口を覆い誘導する。
- (4) 背を低くさせ、足元に注意させる。先の人が転んだら、後の人が高くあげて「ストップ」と言う。
- (5) 先の人の手をあげた時は、後ろの人は押さないで待つ。
- (6) 校舎内は走らない。校舎を出たら走り始める。

6. 避難後の対応

- (1) 生徒が集合整列した後、**担任は学級の人員を点呼し、異常の有無を副部長(教頭先生)に報告する。※生徒に人員を数えさせない。**
副部長→本部長(校長先生)に報告する。

(〇年〇組 出席〇名 無事避難しました。)

- (2) 講評 校長先生

7. その他

- (1) 事前指導 (学級活動) …火災の原因、火災の予防、火災発生時の対応
避難経路、避難の仕方

※当日の朝の会にて事前指導をお願いします。

- (2) 養護教諭 (救護班長) …具合の悪い生徒の避難誘導
- (3) 避難経路 (職員の配置)

- ・1A (沼里先生) …教室⇒1年非常階段⇒グラウンド
- ・1B (関先生) …教室⇒1年階段⇒1年昇降口⇒グラウンド
- ・2A (菅原先生) …教室⇒2年階段⇒2年昇降口⇒グラウンド
- ・2B (櫻井先生) …教室⇒2年階段⇒2年昇降口⇒グラウンド
- ・3A (宮沢先生) …教室⇒体育館⇒グラウンド
- ・3B (西尾先生) …教室⇒3年非常階段⇒グラウンド
- ・3B (吉松先生) …教室⇒3年階段⇒3年昇降口⇒グラウンド

8. 組織

| 係及び班名 | 担当職員名 | 集合場所 | 主なる活動内容 |
|-------|-------------------------------|------------|---|
| 本部長 | 校長先生 | 本部 | |
| 副部長 | 教頭先生 | 本部 | 本部長の指示に従う。計時 |
| 消火班 | ◎新橋先生 田山先生 齋藤先生 織原先生 | 玄関 発火地点 | 消火栓・消化器等により初期消火にあたる。 公設消防隊を誘導する。 |
| 通報連絡班 | ◎村木先生 | 玄関 | 消防隊長の指示に従い命令の通報伝達をする。 消防署(119)への連絡も行う。 |
| 搬出班 | ◎香取先生 | 職員室 | 公定帳簿・備品を搬出し、定められた場所に保管する。 |
| 警戒班 | ◎宮本先生 | 本部 | 全体掌握 |
| 救護班 | ◎俵先生 佐藤先生 宮田先生 | 運動場 | 負傷者の救護にあたる。 負傷者がある時は、救急車を要請する。 |

9. 確認事項

- (1) 今回の避難訓練は、職員の役割確認、避難経路を確認することが目的です。生徒には**事前に避難訓練の実施する目的・避難経路確認などの事前指導を徹底して行う。**
- (2) 搬出班(香取先生)は、職員室から全学級の出席簿を搬出し、避難場所各担任に渡す。
- (3) **濡れ雑巾を必ず用意し、上履きを拭いて教室に上がるように指導する。**
- (4) 担当者は事前に非常階段の確認をしておく。

10. 雨天時の場合、出火場所を美術室・避難場所を体育館とする。

- (1) 速やかに廊下に整列し、ハンカチなどで口を覆い体育館に移動する。(全校朝会のように整列する)
- (2) 避難の仕方は5と同様とする。又、避難経路は2階廊下を使用する。

避難訓練(地震)実施計画

神栖市立神栖第一中学校 保健安全部

1 目標

- (1) 学校生活における非常事態発生時に、人命を考慮して安全に避難するための方法や避難経路を確認する。
- (2) 非常災害の発生に際して、生徒が適切に状況を判断し対処できる態度や能力を養う。
- (3) 集団の中で冷静に判断・行動できる能力と態度を身に付ける。
- (4) 教員の非常時における危機管理能力・生徒の人命を考えた判断力・行動力を培う。

2 実施日時

令和6年5月9日(木)

※雨天の場合 避難訓練は中止・引き渡し訓練は決行

13:00～13:10 帰りの会・帰りの用意

13:10～13:15 訓練・引き渡しの流れの最終確認

13:15 地震発生・「訓練放送」を聞き、机の下に隠れる

13:17 屋上避難指示の放送を聞いてから、避難を開始する。

13:20 屋上にて人数確認 →校長講評→教室へ戻る

13:35～ (荷物・下履きをもって)体育館へ移動

13:45～ 引き渡し開始

3 避難場所

避難場所 (西側)屋上

4 避難経路(各教室からの避難)

3学年→2学年→1学年と続いて、2階廊下から西階段を上り屋上へ避難する。

5 避難方法

- ① 地震の放送を聞いて、机の下にもぐり、落下物から身を守る。
(机の脚を持ち、頭を保護する。危険性のあるものから離れる)
- ② 地震はおさまったという連絡がある。教師の指示に従って、屋上(3年生教室がある側)へ避難する。
※避難途中で教室に戻ったり、みだりに集団・隊列から離れたりしない。
※前列の人が手を挙げたら、後ろの人は押さないで待つ。
※指示をよく聞き、勝手な行動をとらない。「お・か・し・も」をよく守る。
- ③ 屋上に避難後、担任は速やかに人数確認・報告をする。

6 活動の流れ・避難方法

| 時間 | 訓練内容 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|---|----|----|----|----|----|----|----|--|--|--|--|--|--|--|
| 学級活動 | <p>1 事前指導(朝の会で行ってください。)</p> <p>訓練に参加できない家庭の把握(学年一覧名簿に朝のうちに記入)</p> <p>※記入済みの学年一覧名簿を引き渡しのチェックに使用します。</p> <p>地震発生の対応や避難の方法・避難場所・経路についての確認</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| 13:15 | <p>2 地震発生(訓練放送を流す)</p> <p>(1) 放送による避難指示 → 机の下に避難させる</p> <div data-bbox="288 645 1331 786" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>[緊急避難速報が流れる(訓練です・訓練です)]</p> <p>ただいま、地震がありました。机の下に隠れてください。次の指示があるまで、机の下に隠れてください。次の指示があるまで、机の下に隠れて下さい。</p> </div> <p>※担任は教室の出入り口を完全に開け、生徒を机の下に一時避難させる。</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| 13:17 | <p>(2) 訓練放送から2分後、地震がおさまったため、屋上への避難を放送で指示する。</p> <div data-bbox="288 1010 1182 1066" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>安全確保のため、先生の指示に従って、<u>屋上へ避難して下さい</u>。</p> </div> <p>(3) 担任は、生徒を西側(3年生教室側)屋上へ避難させる。</p> <p>(4) 屋上で整列する。</p> <div data-bbox="596 1211 1115 1431" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>(本部)</p> <table style="margin: auto;"> <tr> <td>1B</td> <td>1A</td> <td>2B</td> <td>2A</td> <td>3C</td> <td>3B</td> <td>3A</td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> </table> <p>出入りロドア</p> </div> <p>(5) 避難が完了したら、学級担任は人員を点呼・確認する。そして避難指揮者(教頭)に報告する。 「〇年〇組、出席者〇名、全員避難完了しました。」</p> | 1B | 1A | 2B | 2A | 3C | 3B | 3A | | | | | | | |
| 1B | 1A | 2B | 2A | 3C | 3B | 3A | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13:20 | <p>(6) 校長先生のお話→終了後、教室へ戻る</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| 13:35 | <p>(7) <u>荷物と下履きを持って、体育館へ移動する</u>。</p> <p>3 引き渡し訓練開始</p> <p>避難が完了したら、担当者は各学年の人数を確認する。</p> <p>【引き渡し開始】 ※別紙の各担当者配置図で自分の担当箇所を確認しておく。</p> <p>保護者が来たら、生徒は保護者と一緒に下校する。</p> <p>※引き渡し訓練に参加できない家庭を事前に確認しておく。</p> | | | | | | | | | | | | | | |

一中・三中学区合同引き渡し訓練確認事項

1 ねらい

- 様々な緊急時に、確実に生徒を保護者に引き渡すことができるように生徒、保護者、職員のそれぞれがその方法や流れを確認し、災害に対する意識を高める。

2 日時

- 令和6年5月9日（木） メール配信 13:40
引き渡し開始 13:45 終了 16:00

3 当日の流れ

| | |
|-------------------------|------------------------------|
| 朝の会 ※事前指導 | (読書中止) |
| 地震の避難・津波の避難・引き渡し訓練の趣旨説明 | |
| 13:00~13:10 | 帰りの会 帰りの用意 |
| 13:10~13:15 | 事前指導 流れの再確認 |
| 13:15 | 震度5弱地震・大津波警報 ※震源が近い設定 |
| 13:17~ | 西館屋上へ避難 (※雨天時は避難経路を教室で確認) |
| 13:20~ | 校長講評 保健主事より |
| 13:30~ | 教室へ |
| 13:35~ | 体育館へ移動 (各自荷物と靴をもって) |
| メール配信 | 13:40 |
| 引き渡し開始 | 13:45 |
| 引き渡し場所 | 体育館 |

4 引き渡しの留意事項

- (1) 災害時、車の走行が困難になることを想定し、なるべく徒歩での引き渡しを依頼する。
- (2) 駐車場内での生徒や保護者の皆様の安全確保を考慮し、保護者の皆様が降車せずに引き渡しができるドライブスルー方式の引き渡しを取り入れる。訓練後にアンケートを実施し、次回以降の訓練に活かす。

- (3) 基本的に、引き渡しカードの登録者に引き渡しを行う。ただし、訓練に限り、登録者以外のご親戚の方やご近所の方、ご友人等への引き渡しを可能とする。カードへの登録者以外に引き渡しを依頼する場合や、どうしても都合が付かない場合は事前に担任まで申し出るようお願いする。

※今回はカードでの確認はしない

(4) 当日の迎えが不可能な家庭についての対応

- 事前に迎えが不可能と連絡があった生徒については、14:30に下校させる。
家に着いたら、学校に電話連絡をするよう伝える。

6 引き渡し方法

○徒歩の場合

- (1) 保護者は、体育館玄関で職員に子どものクラスと名前を伝える。
→職員は、体育館内の職員に伝える→体育館内の職員が責任をもって引き渡す。
→学年主任に報告する。

○車の場合

- (1) アルミ門（体育館側）より入場する。
- (2) ①で、保護者は、職員に子どものクラスと名前を伝える。
- (3) 駐車場内をコースにしたがって体育館側面前まで車を進める。

※生徒は、体育館②より外に出る。

- (4) 保護者は、待機レーン（左側）で生徒が外に出てくるまで車内で待機する。

生徒が乗車した後は、右レーンに出てから前進する。

★今回の引き渡し訓練では、車の走行を右レーンとし、生徒を引き渡した後は、必ず右側のレーン（車線）に移動してから前進を促すよう、誘導をお願いします。

★生徒を待つ車両は、前に詰め、グラウンド側まで詰める。

★生徒が保護者の車を探す際は、体育館側と、グラウンド側の両方を探すよう事前に伝えておく。

避難訓練(地震)実施計画(案) 神栖市立神栖第一中学校 保健安全部

令和6年9月

1 目標

- (1) 学校生活における非常事態発生時に、人命を考えて安全に避難するための方法や避難経路を確認する。
- (2) 非常災害の発生に際して、生徒が適切に状況を判断し対処できる態度や能力を養う。
- (3) 授業中における地震に対し、集団の中で冷静に判断・行動できる能力と態度を身に付ける。
- (4) 教員の非常時における危機管理能力・生徒の人命を考えた判断力・行動力を培う。

2 実施日時 令和6年9月9日(月)5校時 終了後〔学校行事1〕

※雨天の場合 避難経路を変更し、体育館に避難します。

13:20～14:10 5校時授業

14:13～14:15 地震発生・机の下に隠れる

14:15～14:20 避難を開始し、教室から避難場所B(体育館駐車場)へ移動

14:20～14:40 避難場所Bにて人数確認 → 教室へ戻る → 反省記入(ロイロノート)

14:40～14:50 帰りの会

14:50～15:10 清掃(清掃終了後下校)

3 避難場所 避難場所 B(体育館駐車場)

グラウンド側から1年・2年・3年の順に体育館側を向いて整列する。

雨天時は、避難経路が、2階廊下から体育館通路の1カ所だけになるので、混雑することが考えられます。

体育館に近いクラスから順に移動し、間隔を空けてから次のクラスが移動するようにし、密集を避けて階段等での事故がないように十分気を付けさせてください。

体育館に移動したら、全校朝会と同じように並んでください。

4 避難経路(5校時の授業場所からの避難)

- | | |
|-------------|-----------------------|
| 1A (英語:櫻井t) | 【1A教室→1年昇降口→体育館駐車場へ】 |
| 1B (数学:織原t) | 【1B教室→1年昇降口→体育館駐車場へ】 |
| 2A (社会:関t) | 【2A教室→2年昇降口→体育館駐車場へ】 |
| 2B (音楽:沼里t) | 【2B教室→2年昇降口→体育館駐車場へ】 |
| 3A (英語:村木t) | 【3A 教室→3年昇降口→体育館駐車場へ】 |
| 3B (社会:西尾t) | 【3B 教室→3年昇降口→体育館駐車場へ】 |
| 3C (数学:吉松t) | 【3C 教室→3年昇降口→体育館駐車場へ】 |
| E (理科:五十野t) | 【E 教室→教室扉→体育館駐車場へ】 |
| G1 (国語:宮沢t) | 【G2教室→教室扉→体育館駐車場へ】 |
| G2 (英語:佐藤t) | 【G2教室→教室扉→体育館駐車場へ】 |

5 避難方法

- ① 地震の放送を聞いて机の下にもぐり、落下物から身を守る
(机の脚を持ち、頭を保護する。危険性のあるものから離れる)
※慌てて飛び出さない。窓や動くもの(本棚等)から離れる。
※廊下や階段で地震を感じたら、できるだけ中央に避難する。(ただし、天井等の状況による。)
※グラウンドにいるときは、落下物を避けるため、速やかに校舎等から離れ、グラウンド中央に避難する。
- ② 地震はおさまったという連絡がある。教師の指示に従って、避難場所 B(体育館駐車場)へ避難する。
※ガラスの破片等でけがをしないようにする。
※避難途中で教室に戻ったり、みだりに集団・隊列から離れたりしない。
※前列の人が手を挙げたら、後ろの人は押さないで待つ。
※教室の指示をよく聞き、勝手な行動をとらない。「お・か・し・も」をよく守る。)
- ③ 体育館駐車場に避難後、速やかに人数確認する。

6 組織・役割分担

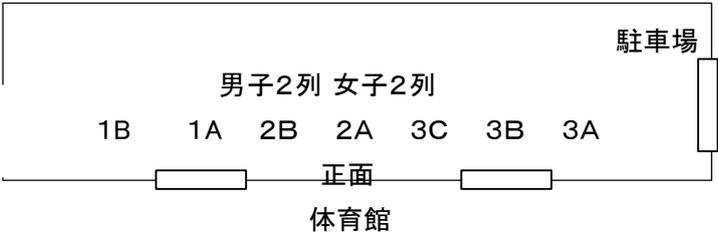
| 係及び班名 | 担当職員名 | 主なる活動内容 |
|---------------|----------|--|
| 本部長 | 校長 | 全体の動きを指揮・講評 |
| 副部長 | 教頭 | 避難場所での集合指揮、避難後の点呼人員把握と報告 |
| 通報係 | 宮本 | 本部長の指示に従い命令の通報伝達をする。 (全校放送で災害状況と避難指示を通報) 放送による通報 消防署(119番)・警察署(110番)等の関係諸機関への連絡等 |
| 避難誘導 | 授業担当者 | 教科担任: 避難指示・誘導 学級担任: 避難場所での生徒点呼、把握 |
| 巡視救護 | 授業者以外の教員 | 校舎内の残留生徒の確認と誘導、校舎内巡視 |
| 看護係 | 俵先生 | 負傷者の手当て、救助用具の確認とその準備 |
| 書類運搬 | 香取先生(宮本) | 重要書類の確認・運搬 |
| 非常口開放 避難誘導 | 授業以外職員 | 通報と同時に避難経路上の非常口を開放、避難誘導・残留生徒の確認 |

適宜指導—全職員で連携を図り、臨機応変な動きができるようお願いします。

※授業外の教員は、地震発生後、職員室での指示を伝える(簡易マイクを使用する・廊下で叫ぶなどする。)

※地震警報が発令されたら、学校は地域の避難場所となる。担任外の教員は、地域の方々の対応にあたる。

7 活動の流れ・避難方法

| 時間 | 訓練内容 | 指導・援助の留意点及び役割分担 |
|-------|--|--|
| 学級活動 | 1 事前指導(朝の会で行ってください。) 地震発生への対応や避難の方法・避難場所・経路についての確認 | <ul style="list-style-type: none"> ・地震発生時の避難方法確認 ・避難経路／避難場所確認 |
| 14:13 | 2 地震発生(訓練放送を流す) (1) 授業者による避難指示 → 机の下に避難させる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> [緊急避難速報が流れる(訓練です・訓練です)] 放送担当教員による指示 ただいま、地震がありました。机の下に隠れてください。次の指示があるまで、机の下に隠れてください。 </div> ※授業者が教室の出入り口を完全に開け、生徒を机下に一時避難させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○一時避難 ・放送と同時に机の下に隠れるようにする。 ・落下物・転倒物・ガラスの飛散から身を守るように指示。 ・使用している火気の消火 ・出口の確保 ・机の脚をしっかりと持つように指示・体の大きい生徒は、椅子も使用する。 ・教員はドアを開けておく。 |
| 14:15 | (2) 訓練放送から2分後、地震がおさまったため、避難場所Bへの避難を授業担当者が指示する。(放送を確認後、指示をする。) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 放送担当教員による指示 地震がおさまりました。 安全確保のため、先生の指示に従って、<u>避難場所B</u>へ避難して下さい。 </div> (3) 授業担当者は、一番近い避難経路から生徒を避難場所Bへ避難させる。 (4) 避難場所で、整列する。 ・校舎側から、1年→2年→3年 ・男子2列、女子2列 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  <p>男子2列 女子2列</p> <p>1B 1A 2B 2A 3C 3B 3A</p> <p>正面</p> <p>体育館</p> <p>駐車場</p> </div> ※雨天時:体育館に避難する際は、全校朝会のように並ぶ。 | <ul style="list-style-type: none"> 【大きな揺れが収まったら】 ・電源やガスの元栓を閉める ○避難場所への避難 ・速やかに整列 ・「お・か・し・も」の約束を守って避難する。 ・隣接クラスと連携し、集団の前後には職員の配置 【学年主任・授業以外の職員】 ・校内に残留生徒がいらないか確認(トイレ・特別教室等に)。 ・負傷者の有無の確認。 [担任] ・避難場所での速やかな整列 ・人員点呼では、生徒の顔・声などの様子でしっかりと確認できるようにする。 ・慌てず走らずに移動する。 ・階段での移動では、各クラス間隔をあけて移動するようにして、危険のないように注意する。 |
| 14:20 | (5) 避難が完了したら、各担任は人員を点呼・確認する。そして避難指揮者(教頭)に報告する。 | |

| | | |
|-------|---|--|
| | <p>「〇年〇組、出席者〇名、全員避難完了しました。」</p> <p>(6) 校長先生の話を聞く。</p> <p>(7) クラスごとに速やかに教室に戻る。</p> <p>3 振り返りの記入 ・ロイロノートに反省を記入し、自己評価をさせる。</p> | <p>報告の仕方 担任→教頭(教務主任) (避難指揮者がいない場合もある ので、学年で生徒数を確認し、 緊急時に避難指揮者に報告し 対応にあたる。)</p> |
| 14:40 | 4 帰りの会 | |
| 14:50 | 5 清掃 | |
| 15:10 | 6 下校 | |

8 教員の確認事項

- (1) 人命の安全確保が最優先の考え方で臨む。
- (2) 真剣に取り組ませる。
「お・か・し・も」の約束を徹底させる。(おさない・かけない・しゃべらない・もどらない)
- (3) 校舎内は速やかに歩く。
- (4) 地震発生の放送が流れたら、教室の出入り口はすべてを開けさせ、生徒は机の下に一時避難させる。そして、次の指示を待たせる。(避難場所への避難)
- (5) 避難場所への指示が出たら、教室を授業者が最後に出て電灯を消し、速やかに避難させる。
- (6) 避難場所では、「男女別」で並ぶようにする。
- (7) 避難後、各担任が学級生徒を点呼確認し、避難指揮者(教頭)に報告する。避難指揮者は本部長(学校長)に報告する。生徒が体育館へ移動後、担任以外は地域の対応にあたる。
- (8) 非常災害発生の放送から点呼報告完了までの所要時間の目標を4分以内とする。津波警報発令後は、けがのないよう落ち着いて移動する。

9 評価

- (1) 地震発生→停電→避難場所Bの避難場所・方法・経路が理解できたか。
- (2) 学級指導を通して、真剣に避難訓練に取り組めたか。
- (3) 「お・か・し・も」の約束が守れたか。
- (4) 速やかに避難、整列、人数確認ができたか。

2024.0912

第3回 学校運営協議会（防災集会）

- 1 期日 令和6年9月12日（木）6校時：特設
- 2 場所 各学級／学校運営協議員1名配置
1-A さん 2-A さん 3-A さん 3-C さん
1-B さん 2-B さん 3-B さん

3 内容／次第

○進行：各学級役員／次第別紙

○資料等：モニターに東日本大震災時に神栖市被災状況・神栖市防災マップ

| | | | | |
|----|----------------------------|--------------|------|---------------|
| 黒板 | 津波液状化 マップ マップ マップ | 南海トラフ マップ | モニター | 3.11被災 神栖市 |
|----|----------------------------|--------------|------|---------------|

内容

・開会行事（3分）

開会の言葉、趣旨説明（別添）、学校運営協議員の紹介

・体験談を聞く／質疑含む（10分）

学校運営協議委員から東日本大震災時の被災、及び体験についての講話・質疑

誰か決めて下さい



・神栖市防災マップ等の確認（20分）

各班ごとに防災マップ・対策編から気付いたことワークシートに書き出す。発表。

※各担任から、あらかじめロイロに各マップ、ワークシートを送信。



各班の意見を提出箱で集約し、1～2の班が代表で発表

・神栖市防災安全課：防災担当者の講話（15分）／オンライン防災マップ等の確認

・閉会行事（3分）

総括／学級役員 閉会の言葉

4 準備等

○事前アンケート 9月9日（月）避難訓練後

○進行打ち合わせ 9月10日（火）美術室 / 各学級役員

○予備知識 9月10日（火）・11日（水）給食時／神栖市被災（3.11）画像
モニター

5 防災シンポジウム

・候補日／筑波大学：梅本准教授講師

12月11日（水）○ 12月13日（金）○

写真

1 避難訓練

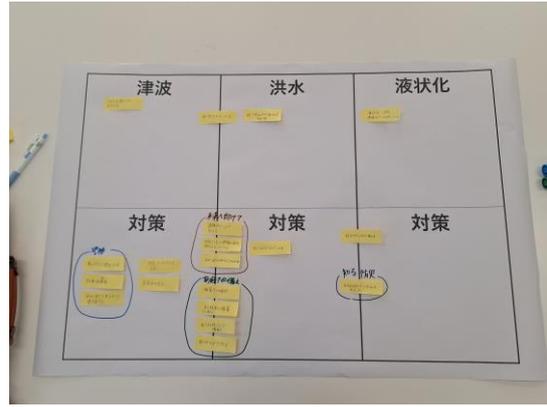


2 引き渡し訓練

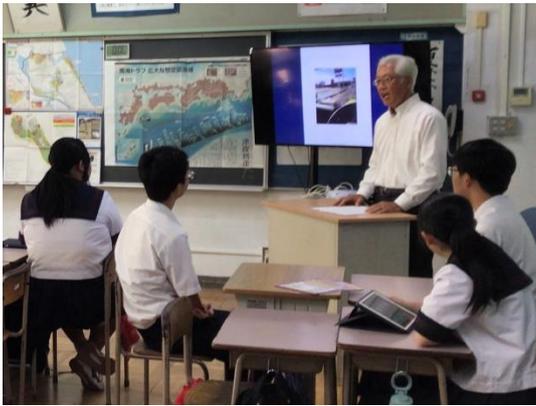


3 防災ミーティング

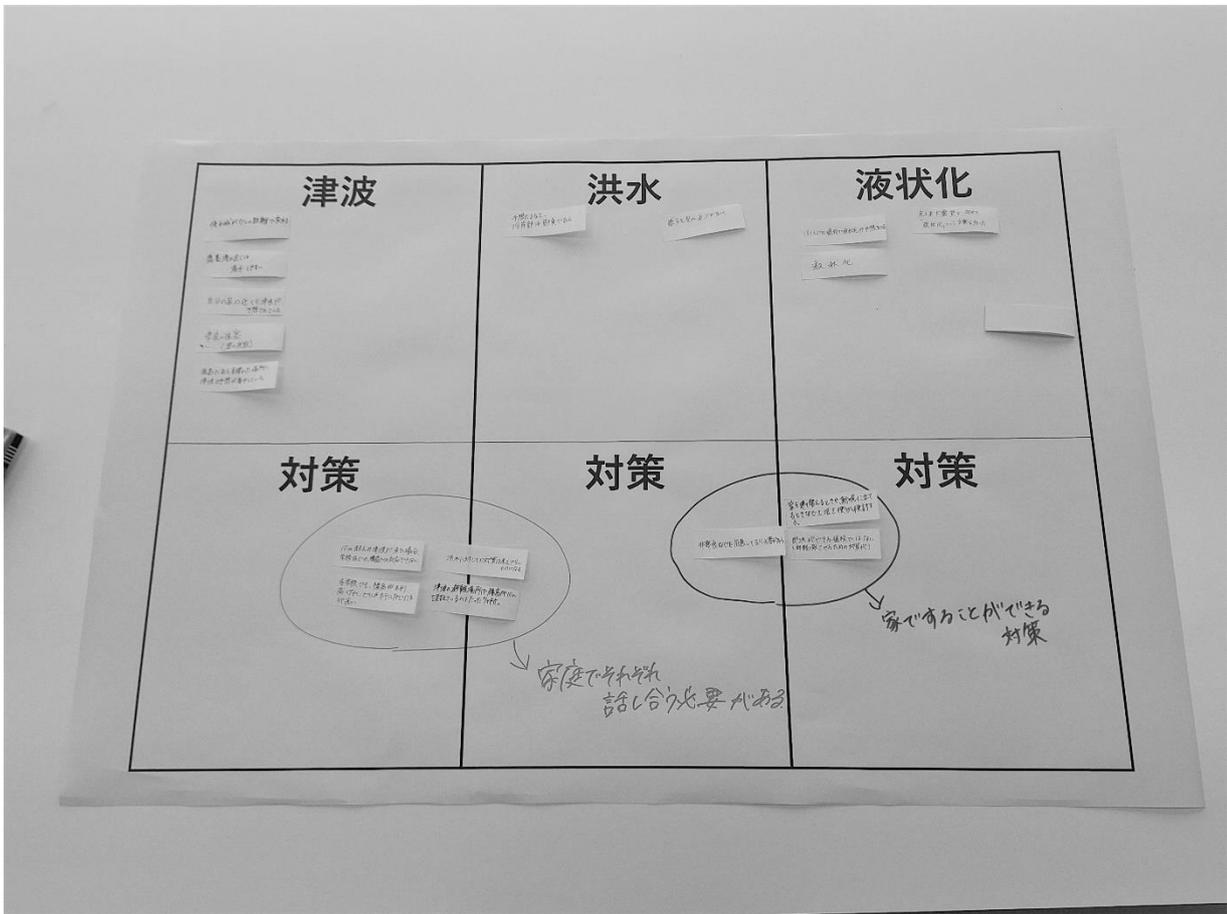
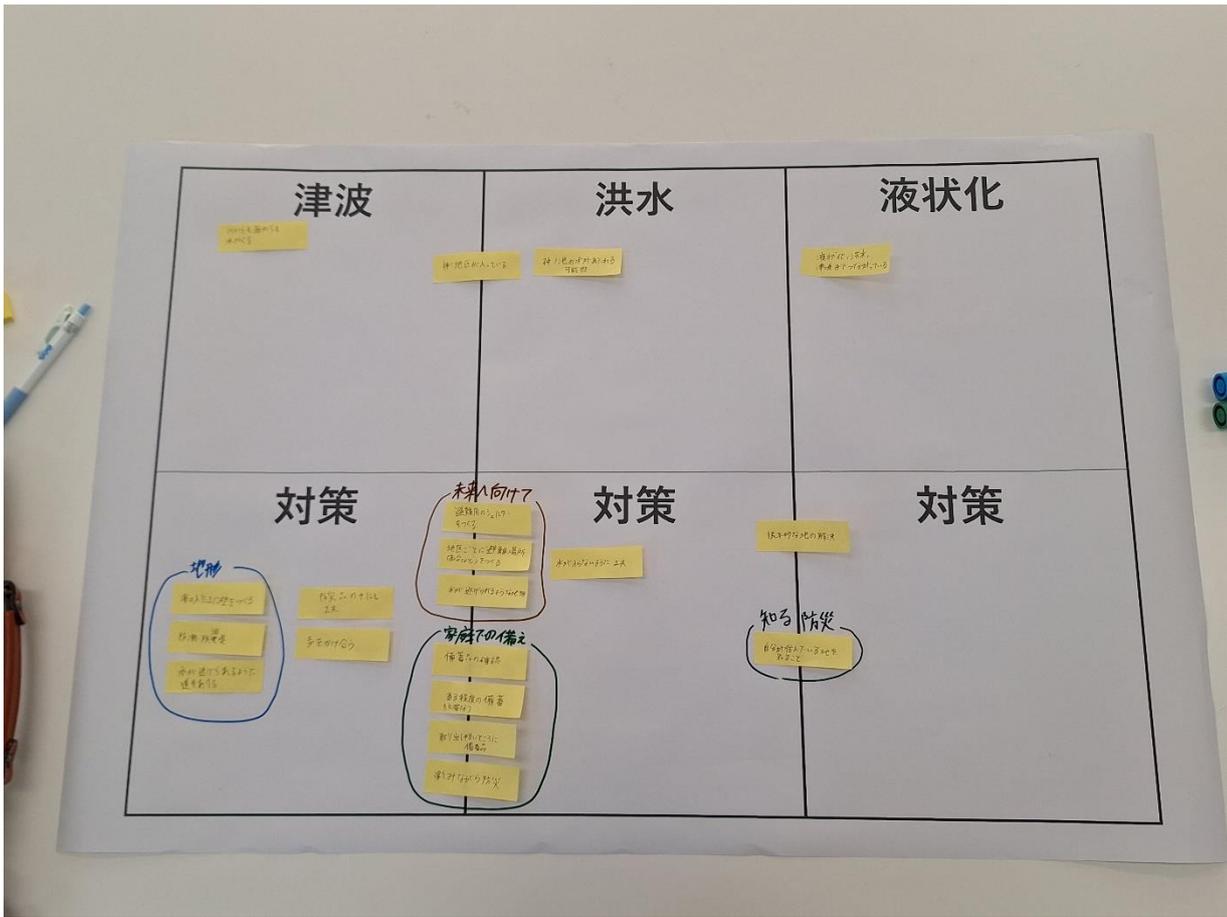




4 防災集会



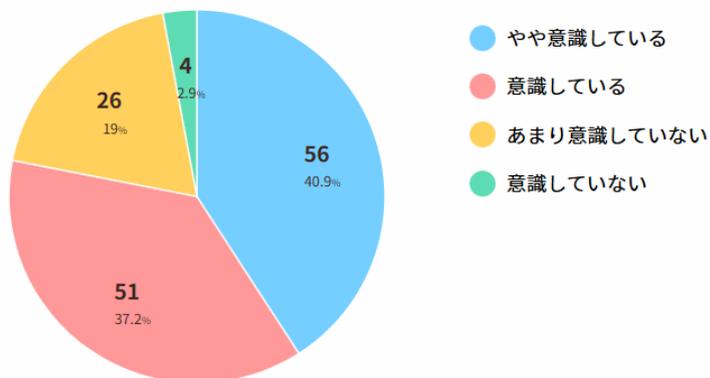
【防災ミーティングの記録】



【2学期避難訓練後アンケート】R6.9.9実施

Q2 今日避難訓練がありましたが、正直、皆さんは日頃から防災を意識していますか。

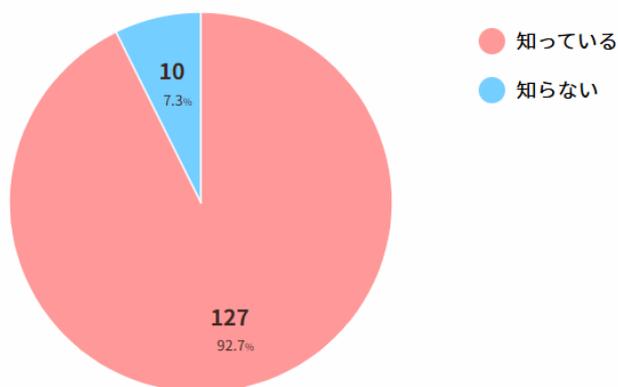
棒グラフ 円グラフ



回答者数 137

Q3 8月8日に宮崎県沖で大きな地震があり、「南海トラフ地震」について報道されるようになりました。皆さんは知っていますか。

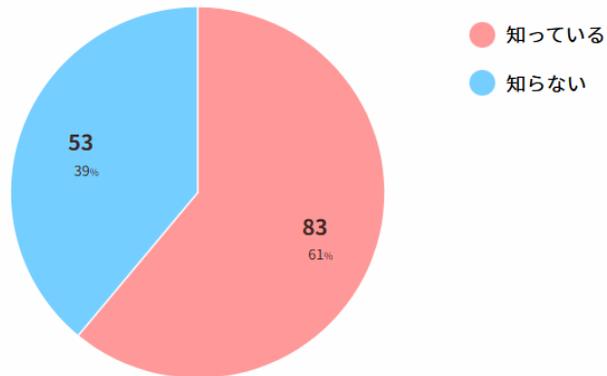
棒グラフ 円グラフ



回答者数 137

Q4 皆さんが住んでいる神栖市が「南海トラフ地震防災対策推進地域」の範囲になっていることを、知っていますか。

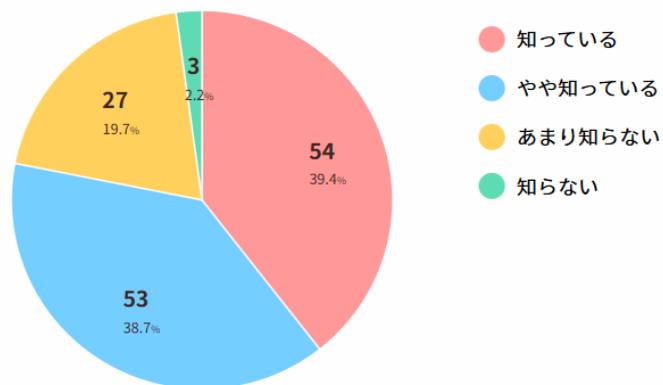
棒グラフ 円グラフ



回答者数 136

Q5 皆さんは、平成23年3月11日にあった、東日本大震災の神栖市の被災状況を具体的に知っていますか。

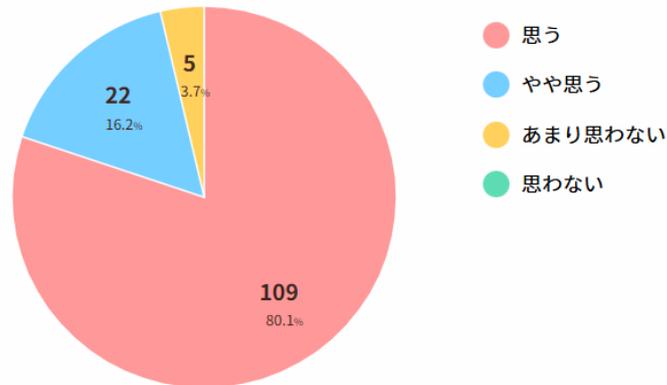
棒グラフ 円グラフ



回答者数 137

Q6 皆さんは、日頃の防災の備えとして、津波に対しても意識する必要があると思いますか。

棒グラフ 円グラフ

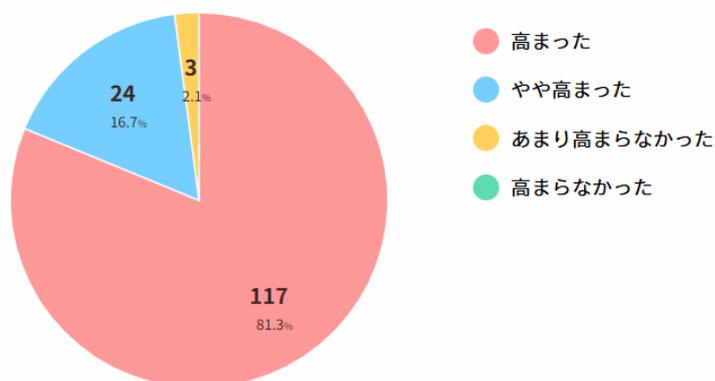


回答者数 136

【防災集会事後アンケート】 R6. 9. 12実施

Q2 防災集会を通して、地震津波に対する意識は高まりましたか。

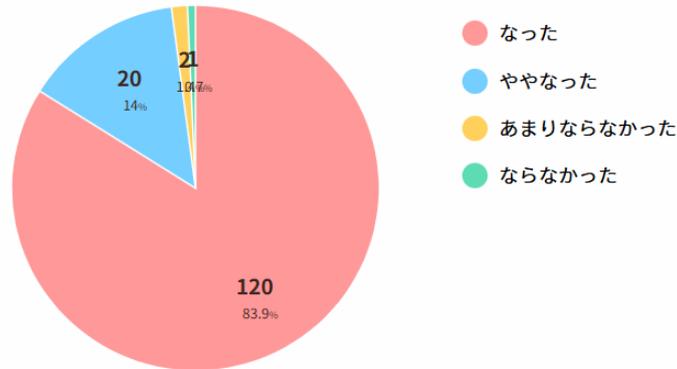
棒グラフ 円グラフ



回答者数 144

Q3 地域の方の体験談を通し、東日本大震災を振り返る機会となりましたか。

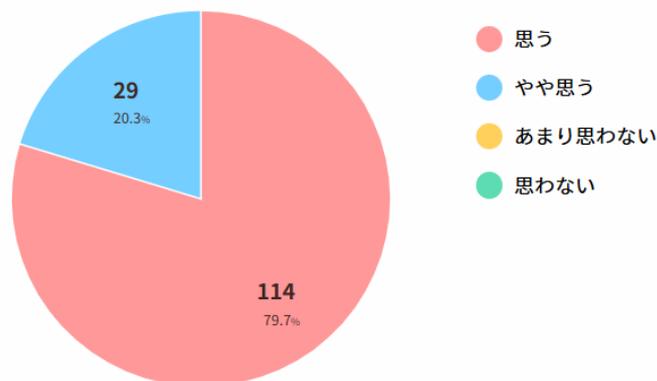
棒グラフ 円グラフ



回答者数 143

Q4 ハザードマップについても学習しました。これからもハザードマップを活用し、避難経路等を定期的に理解することは大切だと思いますか。

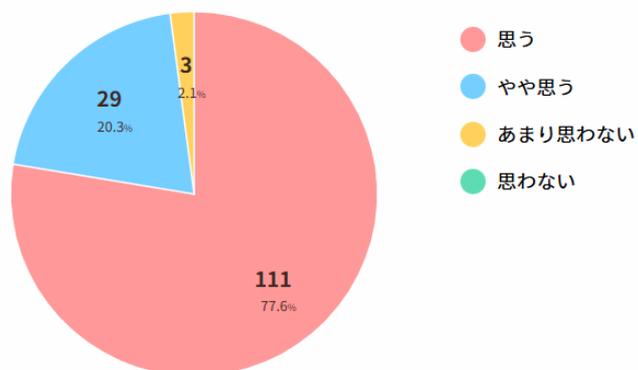
棒グラフ 円グラフ



回答者数 143

Q5 防災について、学校だけでなく家庭でも話すことは、今まで以上に大事だと思いますか。

棒グラフ 円グラフ



回答者数 143

【防災集会ワークシート】

| | |
|-------------------------|---|
| <h2>津波について</h2> | <h2>津波発生時の適切な行動</h2> |
| <h3>浸水地域について</h3> |  |
| <h3>避難経路（青ライン）について</h3> | |

～各クラスの班別協議で記載してもらったワークシートの一部～

| | |
|---|--|
| <h2>津波について</h2> | <h2>津波発生時の適切な行動</h2> |
| <h3>浸水地域について</h3> | <ul style="list-style-type: none">・高い場所や高い建物に いける。・落ちついて行動する。  |
| <h3>避難経路（青ライン）について</h3> | |
| <ul style="list-style-type: none">・海や川に近い・神栖一中も津波がくる・北公共埠頭や南公共埠頭 周辺、 水位が 高く なっている。 <ul style="list-style-type: none">・津波からいけるように青ラインが 引かれている。・海や川から（逃げ道）に引かれている。 | |

津波について

浸水地域について

水場に近いところが被害が多い
北公共埠頭の近くなのに浸水がほとんどないところがある

避難経路（青ライン）について

水場から離れる傾向がある
小道に多い
国道などは人が多くなる可能性があるからやめた方がいいんじゃないか？

津波発生時の適切な行動

まず冷静に判断する
水場から離れる
重いものを外す
非常食などの生きるのに必要なものを持ち高いところなどに避難する



津波について

浸水地域について

- 神1は1mほど浸水する。
- 軽野小学校の方が津波の後の避難方向が多い。
- スーパーホテル鹿島辺りは危ない。
- 鹿島港と神1辺りは浸水する。

避難経路（青ライン）について

- 避難場所だから避難しなくても良いかもしれない。（時と場合による。）
- 鹿島港と神1辺りは避難経路が多い。

津波発生時の適切な行動

- 高いところに逃げる。
- 防災グッズを持つ。
- とにかく急いで避難する。
- 冷静になる。
- 落ち着いて、防災グッズを持って、高いところに避難する。

